

第8期 第3回 与謝野町産業振興会議 会議報告書

日 時 令和7年10月29日（水）午後7時00分～午後9時00分

場 所 岩滝保健センター2階 会議室1・2

出 席（敬称略）

西原 新介	小林 厚美	寺立 浩人	岩西 拓男
足立 克徳	西村 彬弘	糸井 宏輔	太田 桂史
谷口 祐一	小山 大介	山添 宏明	小森 哲哉
大槻 晃一	小田垣 凜	江種 里栄子	宮崎 真実

欠 席（敬称略）

安達 幸三	青木 一博		
-------	-------	--	--

事務局

産業観光課 市田課長	産業観光課 田村補佐	同 井上係長	同 糸井主査
農林環境課 細見主任			

傍聴者 なし

会議概要

1. 開会（小林会長）

2. 議事

（1）外国人労働者の現状等について

①峰山公共職業安定所 所長 岩城 様

～外国人雇用の現状と制度のしくみ（全国動向から丹後の課題まで）～

- ・資料により、峰山公共職業安定所 岩城所長から外国人雇用の現状と制度のしくみを説明
- ・総人口に占める外国人の割合は2020年では全体の3%だが、2070年には10%に上昇する見込み。
- ・市町村人口に占める外国人割合が最も高い北海道占冠村の36.6%をはじめ、外国人技能実習生の多い地域や永住者の多い地域など、自治体固有の事情や歴史的背景がある。
- ・京都府の国籍別技能実習生の人数は、ベトナム、インドネシア、ミャンマーの順に多い。
- ・丹後地域では、外国人雇用事業所が116あり、産業別では、宿泊業・飲食サービスが30、製造業が27と全体の約半分を占め、観光地としての特色が出ている。
- ・今後、労働力不足を背景に外国人人材を受け入れていく必要があるが、行政・企業・地域が

連携し、外国人に選ばれる生活環境や地域社会づくりが求められてくる。

②(株)加悦ファーマーズライス 業務部部长 千賀 様

～外国人技能実習生受入について

- ・資料により、(株)加悦ファーマーズライス 千賀業務部長から外国人技能実習生の受入れ状況を説明
- ・受入れに至った背景は長期的な製造体制を維持するため、取引先に紹介を受け外国人技能実習生を受け入れた。
- ・2024年に6名、2025年にも6名、計12名のベトナム人女性を受入れ、徒歩圏内に宿舍2棟を整備し、現在12名が共同生活している。
- ・地域へは、区役員や宿舍のある隣組に説明し見守りをお願いした。地域には若い人が来ることにに対して好意的に思っている。
- ・生活面では、当初ゴミの分別が難しかったが段々と慣れてきて、今では買い物も電動自転車に乗って自分たちで行けるようになっている。
- ・地域との関係も良好で、区民との交流会に実習生が招待され、双方で料理を振舞ったり交流が進んでいる。

(2) 与謝野町と北部5市における外国人雇用に係る支援制度について

- ・資料により、事務局 田村補佐から与謝野町並びに北部5市の支援制度を説明

(3) 外国人労働者の雇用に係る支援の方向性について（グループディスカッション）

- ・出席委員が3グループに分かれ、支援の方向性についてグループディスカッションを行った。各グループの主な意見は以下のとおり。
- ・本日の意見を踏まえ、11月28日（金）開催予定の第4回の産業振興会議で事務局から支援（案）を提示する。

グループ1

- 会社のFAXに外国人の履歴書が月1～2回届く。外国人の高い労働意欲、逆に言うと帰りたくないという気持ちを感じた。
- 雰囲気として外国人を雇わないとやっていけない方向にシフトしていると思う。
- 外国人労働者に対する企業ニーズがわからない中では、外国人に限らずUターン、移住者等、幅広い人材確保のための支援制度の方が良いのではないかと。
- 外国人技能実習制度は3年後に帰国して自国で事業を成功させるための制度。言うなれば発展途上国の支援として始まった制度だが、何のための制度か改めて考え直していく必要があるのではないかと。

グループ 2

- 外国人を雇用する場合、1人だと孤立する問題もあり複数雇うべきだろう。
- 複数雇用する場合、ファーマーズライスのように一軒家を改修することになる。住宅改修に対する支援策はどうか。
- 雇用支援だけではなく、京丹後市のように日本語教育とか、地域とどうコミュニケーションを取っていくかもすごく大切。定着に向けたソフト面を応援するという考え方も一つではないか。
- 外国人雇用に対する支援制度は、介護人材に限定したものが多く、全業種に対して支援するべきではないか。

グループ 3

- 以前、外国人技能実習生2人を雇用したが、少人数で生活に馴染めず、すぐにリタイアされた。
- 外国人雇用制度や費用まで把握している事業者は少ないと思われる。まずは外国人雇用の制度等を事業者理解してもらうところから進めていくべきではないか。
- 外国人に限らず、若者に選ばれる与謝野町になるよう、人材確保支援を手厚くしていくべきではないか。
- 将来、外国人人材に頼らないと立ち行かない時代が来る。そこを見据えて京丹後市のように地域で外国人を受け入れる体制や心構え、制度を充実していく必要があるだろう。

(4) その他

第4回産業振興会議

日時：令和7年11月28日(金)午後7時から

場所：岩滝保健センター2階 会議室1・2

議事：(仮) 金融支援・外国人雇用支援の方向性について

3. 閉会（西原副会長）